



NCGM



UNAIDS

by

2030

エイズ流行終結と
HIV 感染者への差別偏見の根絶に向けて
2020年11月26日、
国立国際医療研究センターと国連合同エイズ計画は
覚書を締結します

国立国際医療研究センター（NCGM）は、エイズ治療・研究開発センターを中心に診療・国際協力・研究・予防など、HIV対策のあらゆる分野で国内外の第一線で活躍する人材を輩出してきました。国連合同エイズ計画（UNAIDS）は、1996年の設立以来、国連および世界各国のエイズ対策を牽引してきました。

オリンピック憲章には性的指向による差別の禁止が明記されており、日本でも性の多様性に対する社会の理解を促進しようという動きが活発化しています。東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、世界中の視線が東京に集まるこの時期は、HIV対策を含むセクシャル・ヘルス推進の好機です。

今、UNAIDSは2030年までのエイズ流行終結に向け、**Fast Track Cities**という包括的な都市のHIV対策を積極的に支援しています。NCGMとUNAIDSは、本覚書の締結により、**東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたセクシャル・ヘルス推進**で協力し、Fast Track Citiesの理念を国内に広め、2030年までのエイズ流行終結とHIV感染者への差別偏見の根絶に向けた、新たなレガシーを構築したいと考えています。



FAST-TRACK
CITIES

Fast Track Cities は、4 つの団体（パリ市、IAPAC、UNAIDS、UN-Habitat）を中心に、都市レベルでのエイズ対策を推奨するグローバルなパートナーシップのこと。現在 300 を超える都市が加盟し、保健医療対策に有利な条件を生み出す改革やコミュニティ参加、地域の強いリーダーシップなど、エイズ対策への効果が期待されています。



Tokyo Sexual Health は、2019 年厚生労働省研究班により、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け国内の性感染症まん延防止を目的につくられたプログラム。最終的に、活動成果をレガシーとして継承する持続的なプログラムとなることを目指しています。国や地方自治体、市民社会組織、医療機関、民間企業、UNAIDS をはじめとする国際機関などと連携しながら、調査研究、情報発信、政策提案といったさまざまなセクシャルヘルス推進活動を行います。